

うまわたり そくがうらいせき 馬渡・束ヶ浦遺跡 その1

本遺跡の調査は、古賀市総合健康文化公園（愛称「古賀グリーンパーク」）造成工事に伴い、古賀市青柳鹿場・揚田、青柳町馬渡・束ヶ浦・鹿場・小浦・道田地内の面積約36,000㎡に及ぶ範囲を対象として、平成8（1996）年9月17日から平成10（1998）年1月23日までと平成13（2001）年6月26日から平成14（2002）年8月29日まで実施されました。

遺跡は、古賀市の東部から南東部を占める犬鳴山塊から古賀市西部の玄界灘へ向けて派生する丘陵のうち、青柳町地域へ下る南部丘陵周辺に展開する大遺跡で、調査地点は丘陵上や丘陵裾部、および谷部に位置します。

調査の結果、弥生時代から古墳時代にかけての竪穴式住居跡30軒・貯蔵穴50基・落とし穴36基・土壙160基・溝状遺構60条などのほか、多数の小穴が確認されました。また弥生時代から古墳時代の埋葬遺構も確認されています。確認された遺構・遺物などから調査地点の主体となる時期は、弥生時代中期から古墳時代前期頃と考えられますが、縄文時代から中世頃までの遺物も認められています。



グリーンパーク上空から見た古賀市南西部周辺

馬渡・東ヶ浦遺跡出土 青銅製武器



細形銅剣

銅矛

銅戈

(藤本健八氏撮影)